

報告第8号

令和3事業年度

決 算 報 告 書

公益財団法人 対馬栽培漁業振興公社

令和3年度事業報告書
(令和3年5月1日から令和4年4月30日まで)

I 事業活動

- 1 平成8年1月29日に財団法人として設立し、平成11年11月から事業を開始しました。
- 2 当社は、栽培基金の管理と長崎県から施設（栽培センター）の貸与を受け、種苗生産活動を行いながら運営しています。
- 3 平成20年12月1日の特例財団を経て、平成26年4月1日に財団法人対馬栽培漁業振興公社から法人の名称変更を行い、公益財団法人対馬栽培漁業振興公社へと移行しました。

4 当該年度事業活動

地球温暖化等により海洋（海岸）環境は悪化の一途をたどり、当社の種苗生産にも暗い影を落とし、出荷は年々減少し公社運営は非常に厳しい状況に陥っています。また、昨夏の海水温の異常な上昇により、当社の種苗生産も大きな影響を受けました。

しかしながら、今年度は、長崎県から受託したホンダワラ種苗生産実証事業により、一定の収益を上げることができました。

○ 公益事業

公社設立の目的である公益事業の放流用種苗生産においては、温暖化による海水温の上昇やイスズミなどの食害魚の影響により、餌となる海藻類が激減して磯場が荒廃し、近年では放流による漁獲量の増加につながっているかどうか不明であるとして放流活動が自粛され、放流用種苗としてのアワビの出荷は減少しています。

また、現在の環境下でも生存し、一定程度の水揚げが期待できるサザエについては、一定の出荷は確保できたものの十分な状況にはなっていません

ん。特に、昨夏の海水温の異常な上昇は、サザエの幼生が全く定着できない状況を引き起こし、幼生が全滅したことにより、来年度以降の出荷に影響を及ぼすことが懸念されています。

さらに、赤ウニについては、放流の成果が分からないとして昨年度から放流が自粛されており、今年度も出荷することができませんでした。

○ 収益事業

アコヤ貝については、対馬真珠養殖漁業協同組合が一昨年より実施している、当公社で採卵し海水温の高い大分県で育てる取組により一定の出荷が確保され、併せて、北村真珠養殖株式会社からも引き続き注文を受けたことにより、出荷量は計画より大幅な伸びとなり、昨年度に比べ出荷額は倍増しました。

また、岩ガキについては、ホタテの貝殻を活用する努力などにより生産実績が改善され、一定の生産数を確保しつつありましたが、今年度においては、異常な高水温やウイルスの影響であるのか原因の特定には至っていないものの、採卵を数回繰り返しましたが定着しなかったことにより、壊滅的な状況となり計画どおりの出荷ができませんでした。

さらに、カジメ種糸は、磯焼け対策を実施する集落が増えたことを受け、生産数を増やして対応しましたが、海水温の異常な上昇等の影響により計画生産数には至りませんでした。しかしながら、付着率の悪いものを除いて、全て出荷することができました。

加えて、今年度からの初めての取組である、長崎県から受託したホンダワラ種苗生産実証事業については、アオサや糊状の不要な海藻が付着したため、除去しながらの作業ではありましたが、作業工程も順調に進み無事に引き渡すことができました。

しかしながら、対馬市から受託したムラサキウニ陸上養殖実証事業は、事業者から、「生産方法は確立しており、養殖事業者を探すための協議中である。」との申し出があり、中止となりました。

○ まとめ

以上のとおり、公益事業の大幅な増収はなく、磯焼けに歯止めがかからない現状では、収益事業により一定の収益を確保する取組を継続し、その収益で補いながら、基幹である公益事業の復活・拡大に向けた取組を強化する必要があります。

II 事業概要

1 公益事業

出荷数について、主力商品であるアワビは、対前年度比27.8%であり、中でもクロアワビの出荷数は0となっています。また、サザエについても対前年度比54.4%と低迷している現状であります。さらに、赤ウニについては、前年度と同様に出荷数0となっています。よって、公益事業全体の売り上げは、対前年度比47.7%と昨年度に比べ大幅な減収となっており、海藻類の激減による放流活動の自粛は大きな痛手となっています。

- (1) アワビ種苗生産
- (2) 赤ウニ種苗生産
- (3) サザエ種苗生産

2 収益事業

アコヤ貝については、一昨年より対馬真珠養殖漁業協同組合が実施している、当公社で採卵し海水温の高い大分県で育てる取組による大量注文及び北村真珠養殖株式会社からの大量注文により、対前年度比208.6%と大幅に増収しました。

また、岩ガキについては、生産技術は向上していますが、幼生が定着しなかったことで壊滅的な状況になり、対前年度比2.9%にしか至っていません。さらに、カジメ種糸については、磯焼け対策が推進されていますが着底の不調により対前年度比64.0%に留まっています。

結果として、通常収益事業では、アコヤ貝の大量出荷により対前年度比178.4%と大幅な増収につながっています。

加えて、ホンダワラ種苗生産実証事業は、通常の作業と並行しての作業で

あり、困難はあったものの収益につなげることができました。

しかしながら、ムラサキウニ陸上養殖実証事業は、事業自体が中止されたことにより増収につなげることができませんでした。

最終的には、通常養殖種苗生産事業の収入に実証事業の委託料収入を加えると、収益事業全体では、対前年度比224.8%と大幅に増収することとなりました。

- (1) アコヤガイ種苗生産
- (2) 岩ガキ種苗生産
- (3) アラメ・カジメ種糸生産
- (4) ホンダワラ種苗生産実証事業
- (5) ムラサキウニ陸上養殖実証事業

Ⅲ 事業別種苗生産実績

1 アワビ種苗生産

- (1) 計画生産数：25～30mmサイズ10万個
10万6千個を生産しました。
- (2) 出荷数
40～50mmサイズ3千5百個を出荷しました。

2 赤ウニ種苗生産

- (1) 計画生産数：30mmサイズ2万個
2万5千個を生産しました。
- (3) 出荷数
昨年度からの放流事業の自粛により出荷の実績はありませんでした。

3 サザエ種苗生産

- (1) 計画生産数：20～30mmサイズ10万個
採卵を7回実施したが、高温のため幼生が着底しませんでした。
- (2) 出荷数
30～40mmサイズ1万3千5百個を出荷しました。

4 アコヤ貝種苗生産

- (1) 計画生産数：3mmサイズ120万個
400万個程度を生産しました。
- (2) 出荷数
1か月養生90万個、2か月養生250万個を出荷しました。

5 岩ガキ種苗生産

- (1) 計画生産数：10mmサイズ280連（ホタテ貝殻10個付着60枚）
11回採卵し、20連を生産（沖出）しました。
- (2) 出荷数
10%5連を出荷しました。

6 アラメ・カジメ種糸生産

- (1) 計画生産数：種糸30巻（100m/巻）
カジメ30巻を生産しました。
- (2) 出荷数
カジメ16巻を出荷しました。

7 ホンダワラ種苗生産実証事業

- (1) 計画生産数：長崎県からの委託により、ホンダワラプレート（20cm角）300枚
- (3) 出荷数
ホンダワラプレート300枚の出荷を完了しました。

8 ムラサキウニ陸上養殖実証事業

- (1) 計画：対馬市からの委託により、ムラサキウニの陸上養殖の実証
- (3) 事業結果
事業者から、ムラサキウニの陸上養殖技術は確立しているため島内の実施業者（漁協、水産会社等）を探すという申し出があったことにより、実証事業は中止することとなりました。

貸 借 対 照 表

令和4年4月30日現在

(単位：円)

項 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現 金	37,848	40,573	△ 2,725
普通預金	5,638,050	4,756,274	881,776
未収金	1,100,000	1,594,717	△ 494,717
長期未収金	0	197,100	△ 197,100
消費税還付金	1,066,439	0	1,066,439
貸倒引当金	152,900	350,000	△ 197,100
流動資産合計	7,995,237	6,938,664	1,056,573
2 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産定期預金	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(2) 特定資産			
運用財産定期預金	703,000,000	735,000,000	△ 32,000,000
退職給与引当金	4,969,018	4,468,971	500,047
特定資産合計	707,969,018	739,468,971	△ 31,499,953
(3) その他固定資産			
長期前払金 (リサイクル券)	6,230	0	6,230
機械装置 (殺菌装置、車両)	4,252,500	5,197,500	△ 945,000
車両 (軽トラック)	851,987	0	851,987
その他固定資産合計	5,110,717	5,197,500	△ 86,783
固定資産合計	813,079,735	844,666,471	△ 31,586,736
資産合計	821,074,972	851,605,135	△ 30,530,163
II 負債の部			
1 流動負債			
社会保険・雇用保険預り金	332,856	181,641	151,215
所得税預り金	50,880	47,830	3,050
未払金 (3・4社保・4電気)	1,122,018	963,582	158,436
未払金 (餌代、消耗品代、燃料等)	324,916	356,706	△ 31,790
貸倒引当金	152,900	350,000	△ 197,100
法人税 (国、県、市)	81,000	81,000	0
消費税	0	0	0
流動負債合計	2,064,570	1,980,759	83,811
2 固定負債			
退職給与引当金	4,969,018	4,468,971	500,047
固定負債合計	4,969,018	4,468,971	500,047
負債合計	7,033,588	6,449,730	583,858
III 正味財産の部			
1 指定正味財産合計	803,000,000	835,000,000	△ 32,000,000
出捐金	803,000,000	835,000,000	△ 32,000,000
(うち基本財産)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
(うち運用財産)	(703,000,000)	(735,000,000)	(△32,000,000)
2 一般正味財産	11,041,384	10,155,405	885,979
正味財産合計	814,041,384	845,155,405	△ 31,114,021
負債及び正味財産合計	821,074,972	851,605,135	△ 30,530,163

貸借対照表内訳表

令和4年4月30日現在

(単位：円)

項 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1 流動資産					
現金	0	0	37,848		37,848
普通預金	0	0	5,638,050		5,638,050
未収金	0	1,100,000	0		1,100,000
長期未収金	0	0	0		0
消費税還付金	852,831	213,608	0		1,066,439
貸倒引当金	0	152,900	0		152,900
流動資産合計	852,831	1,466,508	5,675,898		7,995,237
2 固定資産					
(1) 基本財産					
基本財産定期預金	0	0	100,000,000		100,000,000
基本財産合計	0	0	100,000,000		100,000,000
(2) 特定資産					
運用財産定期預金	703,000,000	0	0		703,000,000
退職給与引当金	3,557,817	1,411,201	0		4,969,018
特定資産合計	706,557,817	1,411,201	0		707,969,018
(3) その他の固定資産					
長期前払金(サイクル券)	4,460	1,770	0		6,230
機械装置(殺菌装置)	3,044,790	1,207,710	0		4,252,500
車両(軽トラック)	610,023	241,964	0		851,987
その他の固定資産合計	3,659,273	1,451,444	0		5,110,717
固定資産合計	710,217,090	2,862,645	100,000,000		813,079,735
資産合計	711,069,921	4,329,153	105,675,898		821,074,972
II 負債の部					
1 流動負債					
社会保険料預り金	0	0	332,856		332,856
所得税預り金	0	0	50,880		50,880
未払金(社保・電気)	887,222	234,796	0		1,122,018
未払金(餌代、消耗品等)	261,712	63,204	0		324,916
貸倒引当金	0	152,900	0		152,900
法人税(国、県、市)	0	81,000	0		81,000
消費税	0	0	0		0
流動負債合計	1,148,934	531,900	383,736		2,064,570
2 固定負債					
退職給与引当金	3,557,817	1,411,201	0		4,969,018
固定負債合計	3,557,817	1,411,201	0		4,969,018
負債合計	4,706,751	1,943,101	383,736		7,033,588

項 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
Ⅲ 正味財産の部					
1 指定正味財産					
指定正味財産合計	703,000,000	0	100,000,000		803,000,000
出捐金	703,000,000	0	100,000,000		803,000,000
(内基本財産への充当額)	(0)	(0)	(100,000,000)		(100,000,000)
(内特定資産への充当額)	(703,000,000)	(0)	(0)		(703,000,000)
2 一般正味財産					
一般正味財産合計	3,363,170	2,386,052	5,292,162		11,041,384
(内基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)
(内特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)
正味財産合計	706,363,170	2,386,052	105,292,162		814,041,384
負債正味財産合計	711,069,921	4,329,153	105,675,898		821,074,972

正味財産増減計算書

令和3年5月1日から令和4年4月30日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	252,000	260,005	△ 8,005
② 運用財産運用益	1,852,205	1,820,158	32,047
③ 事業収益			
・ 公益事業益	1,642,356	3,443,230	△ 1,800,874
・ 収益事業益	9,509,390	5,331,645	4,177,745
④ 雑収入	22,147	101	22,046
⑤ 運用財産振替額	0	20,000,000	△ 20,000,000
⑥ 委託金	2,475,000	0	2,475,000
経常収益計	15,753,098	30,855,139	△ 15,102,041
(2) 経常費用			
① 事業費			
・ 公益事業費	37,827,928	29,883,846	7,944,082
・ 収益事業費	8,390,005	3,694,333	4,695,672
② 管理費	1,715,625	1,766,350	△ 50,725
③ 退職給付金繰入額	0	0	0
④ 貸倒引当金	0	0	0
⑤ 退職給与金	0	0	0
⑥ 予備費	0	0	0
経常費用計	47,933,558	35,344,529	12,589,029
当期経常増減額	△ 32,180,460	△ 4,489,390	△ 27,691,070
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
運用財産取崩振替額	32,000,000	0	
消費税還付金	1,066,439	0	1,066,439
(2) 経常外費用			
貸倒引当金支出	0	0	0
当期一般正味財産増減額	885,979	△ 4,489,390	5,375,369
一般正味財産期首残高	10,155,405	14,644,795	△ 4,489,390
一般正味財産期末残高	11,041,384	10,155,405	885,979
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	252,000	260,005	△ 8,005
運用財産運用益	1,852,205	1,820,158	32,047
一般正味財産振替額	2,104,205	2,080,163	24,042
指定正味財産増減額	△ 32,000,000	△ 20,000,000	△ 12,000,000
当期指定正味財産増減額	△ 32,000,000	△ 20,000,000	△ 12,000,000
指定正味財産期首残高	835,000,000	855,000,000	△ 20,000,000
指定正味財産期末残高	803,000,000	835,000,000	△ 32,000,000
III 正味財産期末残高	814,041,384	845,155,405	△ 31,114,021

正味財産増減計算書内訳表

令和3年5月1日から令和4年4月30日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	法 人 会 計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 指定正味財産振替額					
基本財産受取利息振替額			252,000		252,000
運用財産受取利息振替額	1,852,205				1,852,205
② 事業収益	1,642,356	9,509,390			11,151,746
③ 雑収入					
受取利息、謝礼等			22,147		22,147
④ 運用財産振替額					
⑤ 委託金		2,475,000			2,475,000
経常収益計	3,494,561	11,984,390	274,147		15,753,098
(2) 経常費用					
① 事業費	37,827,928	8,390,005			46,217,933
種苗生産費	1,220,125	772,675			1,992,800
給与・手当	10,351,450	1,387,681			11,739,131
役員報酬	1,993,344	790,656			2,784,000
福利厚生費	2,262,911	262,121			2,525,032
旅費交通費	34,500	34,500			69,000
通信運搬費					
消耗品費	194,183	315,769			509,952
点検修繕費	11,993,709	3,165,101			15,158,810
備品購入費	87,505	34,709			122,214
燃料費	212,626	84,338			296,964
光熱水料費	8,123,536	693,378			8,816,914
産廃処理費					
保険料	295,145	117,068			412,213
委託料	326,818	129,632			456,450
消費税					
法人県市民税		81,000			81,000
施設整備費		231,000			231,000
減価償却費	732,076	290,377			1,022,453
② 管理費			1,715,625		1,715,625
役員報酬			216,000		216,000
会議費			182,407		182,407
旅費交通費			115,500		115,500
通信運搬費			92,191		92,191

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法 人 会 計	内部取引消去	合 計
消耗品費			142,460		142,460
光熱水料費			60,000		60,000
リース料			324,720		324,720
備品購入費			48,369		48,369
租税公課			19,200		19,200
雑費			14,778		14,778
退職給与引当			500,000		500,000
貸倒引当					
退職給与金					
経常費用計	37,827,928	8,390,005	1,715,625		47,933,558
当期経常増減額	△ 34,333,367	3,594,385	△ 1,441,478		△ 32,180,460
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
① 指定正味財産振替額					
運用財産取崩振替額	31,000,000		1,000,000		32,000,000
消費税還付金	852,831	213,608			1,066,439
経常外収益計	31,852,831	213,608	1,000,000		33,066,439
(2) 経常外費用					
貸倒引当金支出					
経常外費用計					
経常外増減額	31,852,831	213,608	1,000,000		33,066,439
当期経常外増減額	31,852,831	213,608	1,000,000		33,066,439
他会計振替額	1,760,765	△ 1,760,765			
当期一般正味財産増減額	△ 719,771	2,047,228	△ 441,478		885,979
一般正味財産期首残高			10,155,405		10,155,405
一般正味財産期末残高			11,041,384		11,041,384
II 指定正味財産増減の部					
基本財産受取利息			252,000		252,000
運用財産受取利息	1,852,205				1,852,205
一般正味財産への振替額	1,852,205		252,000		2,104,205
指定正味財産取崩額	31,000,000		1,000,000		32,000,000
当期指定正味財産増減額	△ 32,000,000				△ 32,000,000
指定正味財産期首残高	735,000,000		100,000,000		835,000,000
指定正味財産期末残高	703,000,000		100,000,000		803,000,000
III 正味財産期末残高	703,000,000		111,041,384		814,041,384

財 産 目 録

令和4年4月30日現在

(単位：円)

科 目	金 額	金 額
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
現金手許有高	37,848	
普通預金（信漁連）	5,638,050	
未収金（アコヤ貝稚貝代金）	1,100,000	
長期未収金	0	
消費税還付金	1,066,439	
貸倒引当金（信漁連）	152,900	
流動資産合計		7,995,237
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
定期預金（信漁連）	100,000,000	
基本財産合計	100,000,000	
(2) 特定資産		
運用財産		
定期預金（信漁連）	703,000,000	
退職給与引当預金（信漁連）	4,969,018	
特定資産合計	707,969,018	
(3) その他の固定資産		
長期前払金（リサイクル券）	6,230	
機械装置（殺菌装置）	4,252,500	
車両（軽トラック）	851,987	
その他固定資産合計	5,110,717	
固定資産合計		813,079,735
資産合計		821,074,972
II 負債の部		
1. 流動負債		
社会保険預り金	332,856	
所得税預り金	50,880	
未払金（4月分電気、3・4月分社保）	1,122,018	
未払金（餌代、消耗品代、燃料代等）	324,916	
貸倒引当金	152,900	
法人県市民税	81,000	
消費税	0	
流動負債合計		2,064,570
2. 固定負債		
退職給与引当金	4,969,018	
固定負債合計		4,969,018
負債合計		7,033,588
正 味 財 産		814,041,384

当基金の令和4年4月30日現在の資産総額は上記のとおり 814,041,384 円であることを証明する。

公益財団法人 対馬栽培漁業振興公社

監 事 八 島 康 平

監 事 平 川 純 也



監 査 報 告 書

令和 4年 6月10日

公益財団法人 対馬栽培漁業振興公社

理事長 比田勝 尚喜 様

公益財団法人 対馬栽培漁業振興公社

監 事 八 島 康 平



監 事 平 川 純 也



私たち監事は、令和3年5月1日から令和4年4月30日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1. 監査方法及びその内容

各監事は、理事等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じ説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係わる事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

更に、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係わる計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示していると認めます。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。